

Rtoaster ワンタグ導入概要書

目次

• ワンタグ概要	2
• ワンタグ設定概要	6
• ワンタグ設定画面の用語説明	9
• トラッキングの設定	15
• レコメンドの設定	28
• JavaScript関数の設定	44
• ワンタグ設定内容の公開	47
• ワンタグバージョンアップ情報	50
• ワンタグをご利用になられる際のご注意点	53
• Rtoasterサポートセンター（Webマニュアル等）	56
• Appendix : rt_dataを活用した実装	58

ワンタグ概要

ワンタグとは

このタグ1つでトラッキング、レコメンドの表示、レコメンドの呼び出し、JavaScript関数の設置が可能になります。（各種コードをRtoasterの管理画面に設定します）

サイト訪問者の行動を蓄積するページ、レコメンドが実行されるページに挿入するJavaScriptです。

トラッキング

ユーザーのサイト内
行動の蓄積

レコメンドの表示

レコメンド場所の
差し込みカ所の指定
と返却

レコメンドの呼び出し

レコメンドリクエスト・
レコメンド生成

JavaScript関数

レコメンドに活用する
集計やデータ取得
の実施

注意事項

- ※サイト内全ページに挿入することを奨励します。
- ※ワンタグは、<head>タグ内に設置することを奨励しています。
- ※トラッキング・レコメンドを行うには別途管理画面での設定が必要です。
- ※「ワンタグ」が挿入されていないページへユーザーがアクセスした場合、Rtoaster側ではその情報を取得することができません。
- ※レコメンド・効果測定を行うためには、Rtoasterでレコメンドした後のクリック先（遷移先）のページにも「ワンタグ」が挿入されている必要があります。

ワンタグの動作詳細

レコメンドまでの各種挙動

Webページ (HTML)

```
<html>
<head>
<script
type="text/javascript">!function(r,t,j,s){(j=r.cr
eateElement(t)).type="text/javascript",
j.async=!0,j.src="//js.rtoaster.jp/RTA-XXXX-
XXXXXX/rt.js",
(s=r.getElementsByTagName(t)[0]).parentNode
.insertBefore(j,s)
}(document,"script")</script>
</head>

<body>
-----省略-----
<div id="rec_area1">
rec_area1のレコメンドHTML
</div>
<div id="rec_area2">
rec_area2のレコメンドHTML
</div>
-----省略-----
</body>
</html>
```

ワンタグ

1
トラッキングリクエスト
(同期実行)

トラッキング結果の返答

2
レコメンドリクエスト
(同期実行)

レコメンド結果の返答

3
レコメンド結果の表示

Rtoasterシステム

トラッキング/スコアリングの実行

- ・トラッキングIDの確認
- ・ドメインの確認
- ・ユーザーIDが存在しない場合
ユーザーIDの作成
- ・スコアの更新

閲覧履歴、スコア、ユーザー属性に
応じてレコメンドを生成

Rtoaster管理画面

ワンタグ設定画面にてトラッキング、レコメンド場所及びレコメンドコードの設定が必要です。
※タイミングは任意で指定が可能ですが、順番は①②③の順で実行する必要があります。

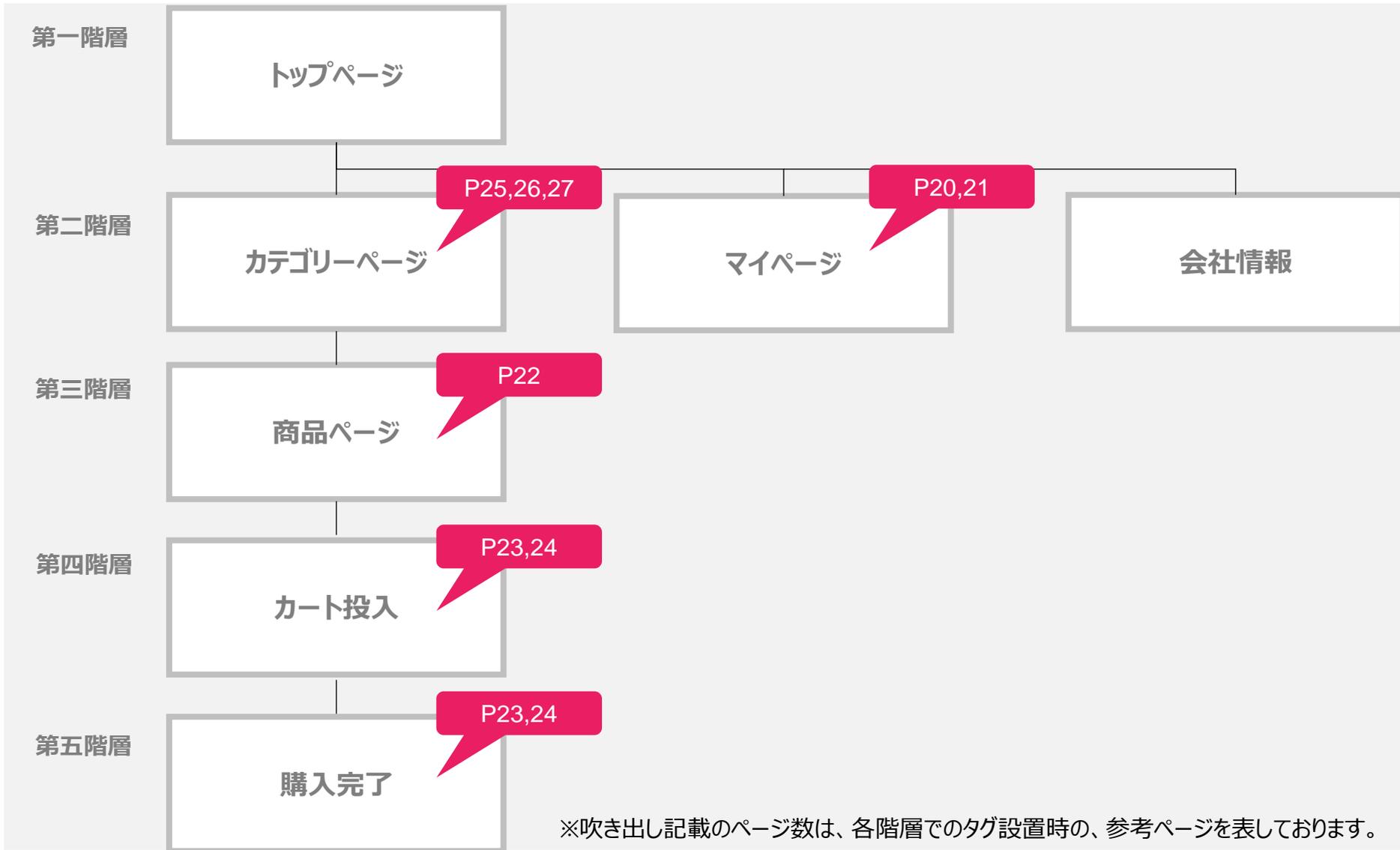
Rtoaster導入における概算スケジュール・タスク



No.	区分	タスク内容	作業工数（概算）	備考
0	スケジュールリング	<input type="checkbox"/> スケジュール作成（BP） <input type="checkbox"/> スケジュール承認（貴社）		
1	サービス準備	<input type="checkbox"/> Rtoasterアカウントの発行	2～3営業日	
2	施策設計・検討	<input type="checkbox"/> レコメンド施策の検討 <input type="checkbox"/> レコメンド場所の確定 <input type="checkbox"/> スコアルール設計・レコメンドルール設計 <input type="checkbox"/> 自動レコメンド方法検討	2～3週間	レコメンド実施内容により期間は増減
3	ワンタグ設定	<input type="checkbox"/> 管理画面にてトラッキング発火条件の設定 <input type="checkbox"/> 管理画面にてレコメンド場所の設定 <input type="checkbox"/> 管理画面にてレコメンド返却条件の設定	2週間～	
4	タグ挿入	<input type="checkbox"/> Rtoasterワンタグの挿入	1週間	HTMLへのタグ挿入
5	ワンタグ用コード、コンテンツ準備	<input type="checkbox"/> ルールベース用コンテンツ準備（バナー・HTML） <input type="checkbox"/> 自動レコメンド用 商品マスタの準備（※1） <input type="checkbox"/> HTMLテンプレートの準備（※1） <input type="checkbox"/> ユーザー属性データの準備（※2） <input type="checkbox"/> 自動アップロード環境の準備（※1・2）	2～3週間	※1 アイテム自動レコメンド 利用時 ※2 ユーザー属性データ 利用時
6	レコメンド設定	<input type="checkbox"/> 管理画面設定	3営業日	
7	動作検証・確認	<input type="checkbox"/> テストサイト動作検証（レコメンド動作の検証）	2営業日	
8		<input type="checkbox"/> テストサイト確認（レコメンドイメージの確認）	1～2週間	
9	リリース	<input type="checkbox"/> 本番サイトリリース		

ワンタグ設定概要

Rtoasterタグ設置個所イメージ



基本の設定の流れ

一般的な設定の流れは以下の通りです。設定方法の詳細は下記記載のページをご覧ください。

トラッキング

- Step1 全ページ共通でトラッキングを行うルールを作成 (p17,18)
- Step2 必要に応じ、ユーザーIDの書き換え、閲覧・購買学習、カスタム変数の設定 (p19-27)
- Step3 設定したトラッキングのルール条件が被っているものがあれば例外条件を設定 (p14を参照)

レコメンド

- Step1 任意のページでレコメンドのリクエスト・生成を行うためのルールを作成 (p29,30,32)
- Step2 必要に応じ、フィルタ・レコメンド場所の差し込みカ所を指定
(フィルタに関してはp39-43、レコメンド場所の差し込みカ所の指定に関してはp34-37を参照)
- Step3 設定したレコメンドのルール条件が被っているものがあれば例外条件を設定 (p14、p31を参照)

設定の反映

- Step1 バージョンの公開 (p49)
- Step2 ワンタグの実装 (p48)

ワンタグ設定画面の用語説明

管理画面設定概要

設定手順	概要
①ルール	どの条件でどのアクションを実行するかを決め、ルール名を付与
②条件	トラッキングのタイミング、発火ページを指定 レコメンドのタイミング、発火ページを指定
③アクション	トラッキング時に実行する内容を設定 ※ユーザIDの書き換え、購買学習、閲覧学習、カスタム変数の取得等が必要な場合はユーザー定義変数も設定が必要です。 レコメンド時に実装する内容を設定 (レコメンド場所の指定・ポップアップ指定) ※フィルタ等が必要な場合はユーザー定義変数も設定が必要です。
④バージョン	設定した内容を公開

条件設定：タイプ説明

ワンタグを発火するトリガータイプは4種類あります。

設定	タイプ	詳細
条件	ページの読み込み	ウェブブラウザがページの読み込みを開始すると発動。 アクションがトラッキングの場合はこのタイミングを推奨。
	DOMの読み込み	ブラウザでDOMが解析できる状態になった後に発動。 アクションがレコメンドの場合はこのタイミングを推奨。
	ウィンドウの読み込み	画像やスクリプトなどの埋め込みリソースを含め、ページが完全に読み込まれた後に発動。
	クリック	対象となるセレクトタをクリックした後に発動。

ユーザー定義変数：タイプ説明

ユーザー定義変数を設定することで、トラッキング・レコメンド時にサイト側から出力される値を取得することができます。出力された値は閲覧学習、購買学習、ユーザーIDの書き換え、カスタム変数等に使用致します。取得方法は6種類あります。

設定	タイプ	詳細
ユーザー定義変数	DOM要素	DOMで値を見つけることができる場合は、この変数タイプを使用。
	Cookie	Cookieで値を見つけることができる場合は、この変数タイプを使用。
	Javascript変数	Javascript変数で値を見つけることができる場合は、この変数タイプを使用。
	Javascript関数	Javascript関数で値を見つけることができる場合は、この変数タイプを使用。
	正規表現	URLで値を見つけることができる場合は、この変数タイプを使用。
	固定値	取得したい値が固定値での場合は、この変数タイプを使用。

組み込み変数：タイプ説明

トラッキング・レコメンドの発動条件は組み込み変数でも設定可能です。

設定	タイプ	詳細	例
組み込み変数	URL	URLで条件を指定する場合に指定。	https://brainpad.co.jp/item
	ドメイン	ドメインで条件を指定する場合に指定。	brainpad.co.jp
	ページ	ページで条件を指定する場合に指定。	/item
	リクエストパラメータ	リクエストパラメータで条件を指定する場合に指定。 例) https://brainpad.co.jp/item?key=value	key=value
	フラグメント	フラグメントで条件を指定する場合に指定。 例) https://brainpad.co.jp/item#rtoaster	rtoaster
	URL (リファラ)	リファラのURLで条件を指定する場合に指定。	https://brainpad.co.jp/path
	ドメイン (リファラ)	リファラのドメインで条件を指定する場合に指定。	brainpad.co.jp
	ページ (リファラ)	リファラのページで条件を指定する場合に指定。	/path
	リクエストパラメータ (リファラ)	リファラのリクエストパラメータで条件を指定する場合に指定。 例) https://brainpad.co.jp/path?key=value	key=value
	タイトル	タイトルで条件を指定する場合に指定。 例) <title>トップページ</title>	トップページ
	ユーザーエージェント	ユーザーエージェントで条件を指定する場合に指定。	iphone

注意事項

※タイプは11種類ございます。タイプを選択して、条件とする値を入力してください。

例外条件について

例外条件の用途

- トラッキングのルールを複数作成した際、重複しないよう2重トラッキングを防ぐ
- レコメンド実施除外ページの設定

例外条件の使用例

下記2点を設定する際、購買完了ページでは「全ページでのトラッキング」が動作しないよう制御する必要があります。

- 全ページでのトラッキング設定
- 購買完了ページでのトラッキング設定

例外条件の設定方法

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

ルール編集

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが実行します

ルール名

発動条件

条件名 条件

ページの読み込み：全ページ 全てを対象にする

AND

例外条件

例外条件を設定

例外条件選択

このルールを発動させないための条件を選択してください

例外条件に設定したい条件名をクリック、または「条件を作成」します。

条件一覧

条件名	タイプ	条件	
ページの読み込み：全ページ	ページの読み込み	全てを対象にする	<input type="checkbox"/>
ページの読み込み：購入完了ページ	ページの読み込み	ページが「/Complete.jsp」を含む	<input checked="" type="checkbox"/>
DOMの読み込み：全ページ	DOMの読み込み	全てを対象にする	<input type="checkbox"/>

条件を作成

上記例の場合は、「ページの読み込み：購入完了ページ」を例外条件として設定します。

注意事項

※例外条件のほうが発動条件よりも効力が強いので、「全ページの読み込み」は例外条件には設定しないでください。

トラッキングの設定

内容によっては、右上に以下のアイコンを掲載しています。

任意

設定自体が任意のページ

トラッキング設定一覧

一般的に、以下の種類のルールを設定する事が想定されます。

- 全ページ共通トラッキング
- ユーザーID書き換えタイミングでのトラッキング（任意）
- 閲覧情報学習のための商品詳細ページでのトラッキング（任意）
- 購買情報学習のための購入完了ページでのトラッキング（任意）
- カスタム変数取得ページでのトラッキング（任意）

注意事項

- ※カスタム変数は、サイト上で出力している変数をスコアリングする際に使用します。
- ※トラッキング設定後は、二重トラッキングを防ぐために必ず例外条件を設定してください。
- ※例外条件のほうが強いので、全ページ共通トラッキングは例外条件には設定しないでください。
- ※例外条件についての詳細は本資料p14をご確認ください。

全ページ共通トラッキング設定方法 1/2

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

①ルールを作成

ルール編集

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが発動します

ルール名 **必須**

共通トラッキング

発動条件 **必須**

発動条件を設定

例外条件

例外条件を設定

アクション **必須**

未設定

トラッキングを発動させる条件を記入します

発動条件選択

このルールを発動するための条件を選択してください

条件一覧

条件名	タイプ	操作
条件を作成		

②発動条件を設定

条件編集

条件を設定してください

条件名 **必須**

ページの読み込み 全ページ

タイプ

ページの読み込み

タイプについて

アクション発動するタイミングをプルダウンから選択します。

- ページの読み込み
- DOMの読み込み
- ウィンドウの読み込み
- クリック

※詳細は本資料p11をご確認ください。

全ページ共通トラッキング設定方法 2/2

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

③ルールを作成

ルール編集

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが実行します

ルール名 必須

発動条件 必須

例外条件

アクション 必須

未設定 

④アクション編集

アクション編集

アクションを設定してください

アクション名 必須

タイプ

ユーザー情報

ユーザーIDを書き換える

閲覧情報の学習

閲覧情報の学習を行う

購買情報の学習

購買情報の学習を行う

カスタム変数など 

全ページ共通トラッキングの場合は選択頂く必要はございません。

外部ツールとの連携の際、戻り値を待ってからトラッキングをする場合はcallback関数を使用します。

カスタム変数など

カスタム変数

トラッキング実行後に呼び出されるコールバック関数

```
function callback() {  
  location.href = "https://brainpad.co.jp/path";  
}
```

トラッキング実行タイミングを遅らせたい時に記載

キャンセル OK

特定のページでトラッキングをする場合の条件設定方法

任意

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

①ルールを作成

ルール編集

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが発動します

ルール名 必須

例：ユーザーID書き換え

発動条件 必須

発動条件を設定

例外条件

例外条件を設定

アクション 必須

未設定

発動条件選択

このルールを発動するための条件を選択してください

条件一覧

条件名	タイプ	実行
		条件を作成

②発動条件の設定

条件編集

条件を設定してください

条件名 必須

例：ログインページ

タイプ

ページの読み込み

条件式

条件式を設定

プルダウンよりタイプを選択します。
詳細は本資料p11をご確認ください。

条件式編集

条件式を設定してください

組み込み変数
 ユーザー定義変数

URL

http://brainpad.co.jp/mypage/login

ページを指定します。状況に合わせて選択

プルダウンより組み込み変数を選択します。
組み込み変数についてはp13をご覧ください。

- に一致する
- に一致する
- に一致しない
- を含む
- を含まない
- から始まる
- で終わる
- の正規表現に一致する

サイト訪問者を特定するユーザーIDの書き換え1/2

任意

サイト訪問者を特定するユーザーIDの書き換えについて

- ユーザーIDの書き換えは、「ユーザー属性データ利用オプション」、「ユーザー軸外部リストレcommend」、「他システム連携」を利用する場合、また、クロスデバイスでスコアリング結果を共有する場合に必要となります。
- Rtoaster側ではサイト訪問者（ユーザー）を識別するCookieを自動発行します。（ユーザーIDと呼称）
- お客様側サイトで発行する値（会員IDなど）をユーザーを識別するキー値として使用する場合、ワンタグ設定画面にて設定が必要となります。設定例は後述します。

① 貴社発行Cookieを利用する方法

- お客様のWebシステム側でサイト訪問者を特定できるCookieが既に発行されている場合、そのCookie値をユーザーIDとして利用する方法です。
- 指定されたCookie名の値が取得できない、または指定されたCookie名の値が空文字の場合は、Rtoaster側で一意的なユーザーIDを自動発行します。

② 動的に会員IDを出力する方法

- お客様のWebシステム側でユーザーIDとして利用したい値（会員IDなど）に動的に出力頂く方法です。
- ユーザーIDがセットされていない、またはセットされたユーザーIDが空文字の場合は、Rtoaster側で自動的に一意的なユーザーIDを発行します。

※有効なユーザーIDがセットされている場合はその値がユーザーIDとして使用され、セットされていない場合はRtoasterが発行したUIDがユーザーIDとして使用される為、同一の訪問者でもRtoaster側では別訪問者として認識します。

※お客様側サイトで発行する値をRtoasterでユーザーを識別するユーザーIDとして使用する場合、セキュリティ上の観点から会員IDなどをそのままの値で利用することは避けてください。

※お客様側サイトで発行するユーザーIDは、**UUID（XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX という36文字）形式ではない、任意の250文字以下**としてください。

サイト訪問者を特定するユーザーIDの書き換え2/2

任意

ルールと条件を作成後、アクション編集画面の設定を行います。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

アクション編集

アクション編集
アクションを設定してください

アクション名 必須
ユーザーIDの書き換え

タイプ
トラッキング

ユーザー情報

ユーザーIDを書き換える **ユーザーIDを書き換えるにチェックを入れ、新規作成をクリックしてください。**

ユーザーID

新規作成

閲覧情報の学習を行う

購買情報の学習

購買情報の学習を行う

カスタム変数など

キャンセル OK

■ 貴社発行のcookieを利用する例

ユーザー定義変数編集
ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名 必須
ユーザーIDの書き換え：cookie

タイプ
Cookie プルダウンより、cookieを選択します。

Cookie名 必須
key

■ 動的に会員IDを出力する例

ユーザー定義変数編集
ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名 必須
ユーザーIDの書き換え：関数

タイプ
JavaScript関数 プルダウンより、Javascript関数を選択します。

スクリプト 必須

```
function () {  
  return value;  
}
```

注意事項

- ※書き換え後のIDは訪問者ごとに一意な値である必要があります。
- ※Rtoasterのトラッキングより先に、ユーザーIDが読み込まれている状態にしてください。
- ※「ユーザー属性データ利用オプション」、「ユーザー軸外部リストレコメンド」を利用する場合、書き換え後の値がインポートするデータと紐付く必要があります。

商品の閲覧情報の学習（商品詳細ページ）

任意

閲覧学習

- 「閲覧情報学習コード」は、**URLからアイテムコードを取得できないサイト**で、商品の閲覧情報を基にした自動レコメンド表示を行う際に必要となります。
※URLからアイテムコードを取得できる場合は不要です。
- 閲覧情報学習コードは、商品詳細ページに該当するページで設定してください。
※商品詳細ページに該当するページは 学習基本設定で設定する「アイテムコード取得正規表現」に一致する必要があります。
- ワンタグで設定する場合は、前提としてサイトから動的に値が出力されている必要があります。**

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

①アクション編集

ルールと条件を作成後、アクション編集画面の設定を行います。

アクション編集
アクションを設定してください

アクション名 必須
閲覧学習用トラッキング

タイプ
トラッキング

ユーザー情報
 ユーザーIDを書き換える

閲覧情報の学習
 閲覧情報の学習を行う
閲覧された商品のアイテムコード
▼
+ 新規作成

購買情報の学習を行う

閲覧情報の学習を行うにチェックを入れ、新規作成をクリックしてください。

ユーザー定義変数編集

ユーザー定義変数編集

ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名 必須

商品詳細：アイテムコード

タイプ

JavaScript変数

プルダウンより、Javascript変数を選択します。
詳細はp12をご覧ください。

変数名 必須

例) window["name1"]["name2"]

閲覧された商品の
アイテムコードを設定

商品の購買情報の学習（購入完了ページ） 1/2

任意

購買学習

ユーザーが購入したアイテムを基にレコメンドを実施するために、購入したアイテムのアイテムコードをRtoasterに通知する必要があります（購買学習設定）。
※**ワンタグで設定する場合は、前提としてサイトから動的に値が出力されている必要があります。**

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

アクション編集 ルールと条件を作成後、アクション編集画面の設定を行います。

アクション編集
アクションを設定してください

アクション名 **必須**
例 購買学習用トラッキング

タイプ
トラッキング

ユーザー情報
 ユーザーIDを書き換える

閲覧情報の学習
 閲覧情報の学習を行う

購買情報の学習
 購買情報の学習を行う

小計
▼
新規作成

商品を追加

購買情報の学習を行うにチェックを入れ、
新規作成を押してください。

ユーザー定義変数

ユーザー定義変数名 **必須**
購買：小計

タイプ
プルダウンより、JavaScript変数を選択します。
詳細はp12をご確認ください。

JavaScript変数

変数名 **必須**
dataLayer[0].subtotalame2

小計の変数を設定

購買情報編集
購買商品情報を設定してください

購買商品

アイテムコード
 直接入力
 ユーザー定義変数

単価
 直接入力
 ユーザー定義変数

数量
 直接入力
 ユーザー定義変数

新規作成

商品を追加

それぞれユーザー定義変数を指定し、
▼をクリックして新規作成

注意事項

※「アイテムコード」は必須項目です。「小計」「単価」「個数」は任意項目ですがデータ分析に活用できるため設定を推奨します。

商品の購買情報の学習（購入完了ページ） 2/2

任意

アイテムコード、単価、数量を購買情報として学習する場合は、**定義変数（アイテム数分）**を設定する必要があります。

ユーザー定義変数

管理画面：「その他」>「ワntag設定」

ユーザー定義変数名 必須

購買学習：アイテムコード 1

タイプ

JavaScript関数

スクリプト 必須

```
function () {  
  return "value";  
}  
function () {  
  return dataLayer[0].order_item_list[0].productID  
}
```

ユーザー定義変数名 必須

例) アイテムコード

タイプ

購買学習：単価 1

JavaScript関数

スクリプト 必須

```
function () {  
  return "value";  
}
```

ユーザー定義変数名 必須

例) アイテムコード

タイプ

購買学習：数量 1

JavaScript関数

スクリプト 必須

```
function () {  
  return "value";  
}
```

タイプはJavascript変数を指定してください。

注意事項

- ※「**アイテムコード**」は必須項目です。「小計」「単価」「個数」は任意項目ですがデータ分析に活用できるため設定を推奨します。
- ※出力する「アイテムコード」はRtoasterへインポートされる「アイテムマスタ」のアイテムコードと紐付く必要があります。
- ※アイテムコードに記載のスクリプトは、GTMに実装しているdata layerの値「order_item_list」を取得する場合の記述例となります。
- ※現状のバージョン（5.14）では、Javascript関数でfor文を書いて設定することができません。
- ※複数商品が投入される場合は、「商品を追加」以降の設定を想定されるすべての商品分行ってください。アイテムコード、単価、数量全て学習させる場合は最大15~20個が推奨です。

カスタム変数の設定方法 1/3

任意

サイト側で出力しているカスタム変数をRtoasterではスコアとして蓄積・活用が可能です。
カスタム変数の取得方法としては、Javascript関数・Javascript変数を使用して取得するのが一般的です。

スコア活用イメージ



ジャンルAの購入スコアを蓄積



商品ジャンルAを購入した人だけに
レコメンドを表示する条件設定が可能です。

アイテムコード	アイテム名	商品ジャンル
001	シャツ	A
002	コート	B
003	ジャケット	A

購入完了ページでJavascript関数で値を出力している場合

▼ (例) 出力Javascript関数

```
function (){\n  return value;\n}
```



管理画面設定

▼設定箇所

スコア項目・グループ設定とスコアルールを設定します。

(例)

- ▼スコア項目・グループ設定
スコアグループ：購入商品ジャンル
スコア項目：ジャンルA
- ▼スコアルール設定
カスタム変数名：「items_genre」
カスタム変数値：「A」に一致する



カスタム変数の値をスコア蓄積することが可能です。

カスタム変数の設定方法 2/3

任意

カスタム変数を取得する際は、「アクション編集」にて設定してください。

※前提としてサイトから動的に値が出力されている必要があります。

管理画面：「その他」>「ワング設定」

①アクション編集

アクション編集

アクションを設定してください

アクション名 必須

例) アイテム閲覧情報の学習

タイプ

トラッキング

ユーザー情報

ユーザーIDを書き換える

閲覧情報の学習

閲覧情報の学習を行う

購買情報の学習

購買情報の学習を行う

カスタム変数など

カスタム変数

カスタム変数を追加

トラッキング実行後に呼び出されるコールバック関数

```
function () {  
  location.href = "https://brainpad.co.jp/path";  
}
```

②カスタム変数編集

カスタム変数編集

スコアールの条件で利用できるカスタム変数を設定してください。マルチバイト文字の利用は非推奨となります

カスタム変数

カスタム変数名 必須

例) key

カスタム変数値 必須

直接入力

ユーザー定義変数

新規作成

新規作成をクリックします。
ユーザー定義変数の設定ページに遷移します。

③ユーザー定義変数編集

ユーザー定義変数編集
ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名 **必須**

例) アイテムコード

タイプ

- DOM要素
- DOM要素
- Cookie
- JavaScript変数
- JavaScript関数
- 正規表現
- 固定値

**変数取得方法を選択します。
※サイトの状況に合わせて選択してください。**

■ DOM要素を選択した例

ユーザー定義変数名 **必須**

例) アイテムコード

タイプ

DOM要素

セレクタ **必須**

.target.class

■ Cookieを選択した例

ユーザー定義変数名 **必須**

例) アイテムコード

タイプ

Cookie

Cookie名 **必須**

key

■ Javascript関数を選択した例

ユーザー定義変数名 **必須**

例) アイテムコード

タイプ

JavaScript関数

スクリプト **必須**

```
function (){\n  return value;\n}
```

注意事項

※Cookieの一部の値で設定したい場合はJavascript関数を記載する必要があります。記載方法についてはお問い合わせください。

レコメンドの設定

内容に応じて、ページ右上に下記アイコンを記載しております。

ルールベース

ルールベースレコメンドの設定時にのみ関係ページ

自動レコメンド

自動レコメンドのみの設定時にのみ関係するページ

任意

設定自体が任意のページ

レコメンドの設定方法

レコメンドを行う場合に設定します。
※レコメンドを行うページでトラッキング設定がなされている必要があります。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

①ルールを作成

TOP > その他 > ワンタグ設定

ワンタグ設定

ルール 条件 アクション ユーザー定義変数 共通 バージョン

登録件数: 0 / 100

ルール名	条件	アクション	ステータス	最終更新日
ルールを作成				

②発動条件を設定

ルール編集

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが発動します

ルール名 **ルール名を任意で登録します。**

発動条件

例外条件

アクション

発動条件選択

このルールを発動するための条件を選択してください

条件一覧

条件名	タイプ	条件
条件を作成		

※レコメンドを設定する場合には、複数の条件で同一ページがマッチしないようご注意ください。（参照：P55）

レコメンドの設定方法（発動条件）

レコメンドコードを発火させるタイミングを設定します。特定のページを読みこみ対象にすることも可能です。

条件編集 ✕

条件を設定してください

条件名 **必須**

例) ページの読み込み: 商品詳細ページ

タイプ

ページの読み込み ▼ プルダウンよりタイプを選択します。

条件式

条件式を設定

管理画面: 「その他」> 「ワntag設定」

ページの読み込み ▼

ページの読み込み

DOMの読み込み

ウィンドウの読み込み

要素のクリック

カスタムイベントの呼び出し

タイプについて

アクション発動するタイミングをプルダウンから選択します。

- ページの読み込み
- DOMの読み込み
- ウィンドウの読み込み
- 要素のクリック
- カスタムイベントの呼び出し

※詳細はp11ページをご確認ください。

■ 商品詳細ページのみ発火させる（URLで指定する）例

条件式編集

条件式を設定してください

組み込み変数

ユーザー定義変数

URL ▼ プルダウンよりURLを選択します。

https:// brainpad.co.jp/item] を含む ▼

URL ▼

URL

ドメイン

ページ

リクエストパラメータ

フラグメント

URL (リファラ)

ドメイン (リファラ)

ページ (リファラ)

リクエストパラメータ (リファラ)

タイトル

ユーザーエージェント

■（ページで指定する）例

1. プルダウンでページを選択
2. 「/item」を含む

レコメンドの設定方法（例外条件）

任意

特定の条件でレコメンドコードを発火させたくない場合に例外条件を設定します。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

③ 例外条件を設定

ルール編集

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが発動します

ルール名 **必須**
商品詳細ページでのレコメンド

発動条件 **必須**
発動条件を設定

例外条件
例外条件を設定

アクション **必須**
未設定

例外条件選択

このルールを発動させないための条件を選択してください

条件一覧

条件名	タイプ	条件
条件を作成		

例) 企業情報ページでは
レコメンドコードを発火させない例

条件編集

条件を設定してください

条件名 **必須**
例) **企業情報ページ除外条件**

タイプ
プルダウンよりタイプを選択します。
ページの読み込み

条件式
条件式を設定

条件式編集

条件式を設定してください

組み込み変数
 ユーザー定義変数

ページ
/corporate/ に一致する

例外条件の設定が完了します。

レコメンドの設定方法（アクション設定）

設定したルールで発動するアクションを設定します。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

④ アクションを設定

ルール編集 ✕

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが発動します

ルール名 必須

商品詳細でのレコメンド

発動条件 必須

発動条件を設定

例外条件

例外条件を設定

アクション 必須

アクションを設定

編集アイコンをクリックします。

アクション選択

このルールで発動するアクションを設定してください

アクション名

アクションを作成

アクション編集 ✕

アクションを設定してください

アクション名 必須

商品詳細ページでのレコメンド

タイプ

レコメンド ▼ **レコメンドを選択します。**

優先度

例)

通常レコメンド

通常レコメンドを表示する

ポップアップレコメンド

ポップアップレコメンドを表示する

設定方法は次のページで説明しています。

通常レコメンドの場合（エレメントIDを選択）

通常レコメンド設定

商品詳細ページで通常レコメンドを実施する場合の例示。

アクション編集
アクションを設定してください

アクション名 **商品**

商品詳細ページでのレコメンド

タイプ
レコメンド

通常レコメンド

通常レコメンドを表示する

エレメントを選択

ページにレコメンド場所のHTMLタグを挿入する

挿入するレコメンド場所を追加

ページに挿入するレコメンド場所のHTMLタグを設定します。

アクション編集
アクションを設定してください

アクション名 **商品**

商品詳細ページでのレコメンド

タイプ
レコメンド

通常レコメンド

通常レコメンドを表示する

エレメントを選択

ページにレコメンド場所のHTMLタグを挿入する

挿入するレコメンド場所を追加

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

エレメントID選択（通常）
レコメンドを表示するエレメントIDを次の一覧から右に選択してください

エレメントID(Webコンテナ参照)	レコメンドタイプ
<input type="checkbox"/> embedded_tag_history 閲覧履歴	閲覧履歴
<input type="checkbox"/> embedded_tag_recommend あなたにおすすめ	ルールベースレコメンド

チェック項目を除外

エレメントID(Webコンテナ参照)

レコメンドタイプ

追加 >>

キャンセル OK

商品詳細ページで発火させたい
エレメントIDを選択して追加します。

エレメントIDについて

「エレメントID」はRtoasterでレコメンドを実行するWebサイトコンテンツの場所（レコメンド場所）を特定するのに必要なid属性です。
導入後、「エレメントID」が変更された場合は、こちらのページにて再度「エレメントID」をご選択いただく必要があります。

レコメンドの差し込みカ所を指定します。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

レコメンド場所編集

ページに挿入するレコメンド場所のHTMLタグを設定してください

HTMLタグ **必須**

```
<div id="rt_contents">  
  <div id="rt_contents_1"></div>  
  <div id="rt_contents_2"></div>  
  <div id="rt_contents_3"> </div>  
</div>
```

挿入位置 **必須**

セレクト

.pickup_item

位置

開始タグの直前 ▼

- 開始タグの直前
- 開始タグの直後
- 終了タグの直前
- 終了タグの直後

レコメンド場所として実装するHTMLタグを入力します。

レコメンドを挿入する位置はクラス指定またはID指定が可能です。
※クラス指定の場合は先頭に「.」を、IDの場合は先頭に「#」を付けてください。

サイトにHTMLタグを挿入したイメージは次のページで説明しています。

指定したセレクトに対するレコメンド場所の挿入位置を指定します。

注意事項

- ※HTMLタグ設定のdivタグは例です。サイト側のデザインに応じて変更ください。
- ※本機能はRtoasterで利用するレコメンド場所を追加するための機能です。その他の用途でのご利用はお控えください。

レコメンドの差し込みカ所を指定します。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

レコメンド場所編集

ページに挿入するレコメンド場所のHTMLタグを設定してください

HTMLタグ **必須**

```
<div id="rt_rec_item">  
  <div id="rt_rec_item_1"></div>  
  <div id="rt_rec_item_2"></div>  
  <div id="rt_rec_item_3"></div>  
</div>
```

挿入位置 **必須**

セレクト

.product

位置

開始タグの直前 ▼

開始タグの直前

開始タグの直後

終了タグの直前

終了タグの直後

レコメンド場所として実装するHTMLタグを入力します。

レコメンドを挿入する位置はクラス指定またはID指定が可能です。
※クラス指定の場合は先頭に「.」を、IDの場合は先頭に「#」を付けてください。

サイトにHTMLタグを挿入したイメージは次のページで説明しています。

指定したセレクトに対するレコメンド場所の挿入位置を指定します。

注意事項

※HTMLタグ設定のdivタグは例です。サイト側のデザインに応じて変更ください。

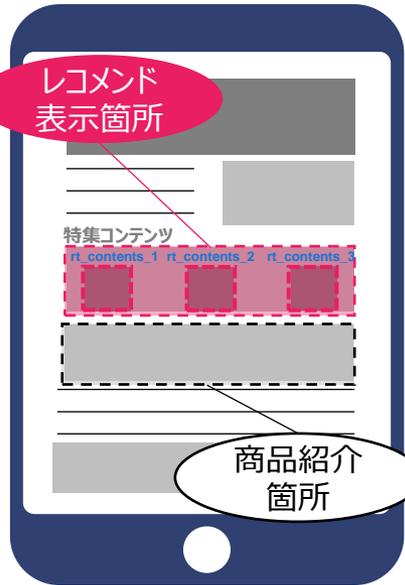
※本機能はRtoasterで利用するレコメンド場所を追加するための機能です。その他の用途でのご利用はお控えください。

HTMLタグ挿入イメージ（ルールベースレコメンド）

ルールベース

レコメンド場所編集でルールベースレコメンドを設定した場合、サイトHTML側への挿入イメージは以下の通りです。

貴社Webサイト



貴社サイトHTML

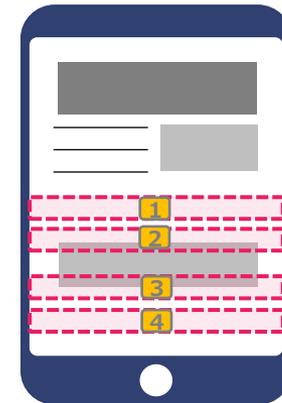
```
<div id="rt_contents">
  <div id="rt_contents_1">
    rt_contentsのwebコンテンツグループ設定内容
  </div>
  <div id="rt_contents_2">
    rt_contentsのwebコンテンツグループ設定内容
  </div>
  <div id="rt_contents_3">
    rt_contentsのwebコンテンツグループ設定内容
  </div>
</div>

<div class="pickup_item">
  <div class="item_image">
    
  </div>
  <div class="item_detail">
    <div class="title">タイトル </div>
  </div>
</div>
```

挿入位置について

挿入位置をセクタ「.pickup_item」の開始タグの直前と設定した場合、HTMLタグの挿入位置は下記（1）となります。

※同じクラス名が複数存在する場合、最初に読み込まれる部分が対象になります。



レコメンド場所で設定したHTMLタグが挿入されます。

■レコメンド返却内容について

管理画面のwebコンテンツグループで設定しているコンテンツ（HTML）が返却されます。

```
-----開始タグの直前----- 1
<div class="pickup_item">
-----開始タグの直後----- 2
<div class="item_image">
  
</div>
  <div class="item_detail">
    <div class="title">タイトル </div>
  </div>
-----終了タグの直前----- 3
</div>
-----終了タグの直後----- 4
```

HTMLタグ挿入イメージ（自動レコメンドの場合）

自動レコメンド

レコメンド場所編集で自動レコメンドを設定した場合、サイトHTML側への挿入イメージは以下の通りです。

貴社Webサイト

商品紹介
箇所



貴社サイトHTML（商品紹介箇所）

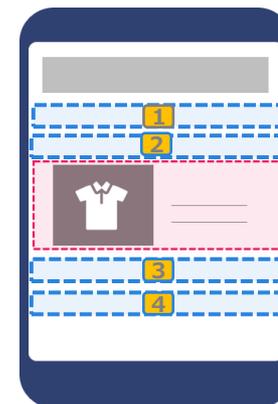
```
<div class="product">
  <div class="product_image">
    
  </div>
  <div class="product_detail">
    <h1>商品タイトル</h1>
    <p>商品詳細</p>
  </div>
</div>
```

```
<div id="rt_rec_item">
  <div id="rt_rec_item_1">
    rt_rec_itemのwebテンプレート設定内容
  </div>
  <div id="rt_rec_item_2">
    rt_rec_itemのwebテンプレート設定内容
  </div>
  <div id="rt_rec_item_3">
    rt_rec_itemのwebテンプレート設定内容
  </div>
</div>
```

挿入位置について

挿入位置をセクタ「.product」の終了タグの直後と設定した場合、HTMLタグの挿入位置は下記（4）となります。

※同じクラス名が複数存在する場合、最初に読み込まれる部分が対象になります。



レコメンド場所で設定したHTMLタグが挿入されます。

レコメンド返却内容について

自動レコメンドの場合は、webテンプレートで設定している内容が返却されます。

```
-----開始タグの直前-----
<div class="product">
-----開始タグの直後-----
  <div class="product_image">
    
  </div>
  <div class="product_detail">
    <h1>商品タイトル</h1>
    <p>商品詳細</p>
  </div>
-----終了タグの直前-----
</div>
-----終了タグの直後-----
```

ポップアップレコメンドの場合

ポップアップレコメンド

ポップアップを実施する場合の設定方法になります。

通常レコメンド

- 通常レコメンドを表示する
- エレメントIDを選択
- ページにレコメンド場所のHTMLタグを挿入する
- 挿入するレコメンド場所を追加

オプション

- デフォルトコンテンツをレコメンドが実行されるまで表示しない

ポップアップレコメンド

- ポップアップレコメンドを表示する
- エレメントIDを選択

ポップアップレコメンドを表示するにチェックを入れ、「エレメントIDを選択」をクリックしてください。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

エレメントID選択 (ポップアップ)

レコメンドを表示するエレメントIDを右の一覧から左に選択してください

エレメントID/HTMLレコメンド種類	レコメンド内容	チェック項目を除外
<input type="checkbox"/> 商品詳細ページ ポップアップ	ルールベースレコメンド	<input type="checkbox"/> エレメントID/HTMLレコメンド種類
		レコメンド内容

追加 >>

キャンセル OK

商品詳細ページで発火させたい
エレメントIDを選択して追加します。

フィルタ設定 (アイテムコード指定)

複数ターゲットアイテムを指定して、アイテム軸レコメンドを実施する場合に設定します。
例えば、カートページのように複数アイテムをRtoasterへ通知させる際に設定が必要です。

管理画面：「その他」>「ワntag設定」

フィルタ

アイテムコード指定

ターゲットアイテムを指定する 「ターゲットアイテムを指定する」にチェックを入れます。

プルダウンを選択し、「新規作成」をクリックします。

+ 新規作成

アイテムコードを取得できるタイプに応じて選択してください。

例) DOM要素からアイテムコードを取得できる場合

ユーザー定義変数編集

ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名 **必須**

アイテムコード

タイプ

DOM要素

プルダウンよりタイプを選択します。

セレクト **必須**

#target

タイプ

DOM要素

DOM要素

Cookie

JavaScript変数

JavaScript関数

正規表現

固定値

(例) 貴社サイトHTML

```
<div class="product">
<div
class="product_image">

</div>
<div id="target">22578
</div>
</div>
```

フィルタ設定 (レコメド場所毎のアイテムコード指定)

レコメド場所毎に、ターゲットアイテムとなるアイテムコードを指定することができます。
本設定はアイテム軸自動レコメド、アイテム軸外部リストレコメドのみ適用されます。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

レコメド場所毎のアイテムコード指定

レコメド場所毎のターゲットアイテムを指定する

「レコメド場所毎のターゲットアイテムを指定する」にチェックを入れます。

エレメントID/Webレコメド場所名	タイプ	アイテムコード
embedded_top_campaign キャンペーン情報	通常	<input type="text"/>
rtoaster_popup ポップアップ (デフォルト)	ポップアップ	<input type="text"/>

プルダウンを選択し、「新規作成」をクリックします。

アイテムコードを取得できるタイプに応じて選択してください。

例) DOM要素からアイテムコードを取得できる場合

ユーザー定義変数編集

ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名 **必須**

アイテムコード

タイプ

DOM要素

プルダウンよりタイプを選択します。

セレクト **必須**

#target

タイプ

- DOM要素
- DOM要素
- Cookie
- JavaScript変数
- JavaScript関数
- 正規表現
- 固定値

(例) 貴社サイトHTML

```
<div class="product">
<div
class="product_image">

</div>
<div id="target">22578
</div>
</div>
```

フィルタ設定 (除外アイテムコード指定)

アイテム軸自動レコメンド、アイテム軸外部リストレコメンド、ユーザー軸自動レコメンド、ユーザー軸外部リストレコメンドの結果から除外するアイテムコードを指定します。その他の自動レコメンドの結果、ルール用リストには適用されません。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

除外アイテムコード指定

レコメンド結果から除外するアイテムを指定する

「レコメンド結果から除外するアイテムを指定する」にチェックを入れます。

プルダウンを選択し、「新規作成」をクリックします。

+ 新規作成

アイテムコードを取得できるタイプに応じて選択してください。

例) DOM要素からアイテムコードを取得できる場合

ユーザー定義変数編集

ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名 **必須**

アイテムコード

タイプ

DOM要素

プルダウンよりタイプを選択します。

セレクト **必須**

#target

タイプ

- DOM要素
- DOM要素
- Cookie
- JavaScript変数
- JavaScript関数
- 正規表現
- 固定値

(例) 貴社サイトHTML

```
<div class="product">
  <div
    class="product_image">
    
  </div>
  <div id="target">22578
</div>
</div>
```

フィルタ設定 (カテゴリフィルタ)

カテゴリを取得することで、フィルタリングが可能になります。
例えば、商品Aの商品詳細ページで、商品Aと同じカテゴリの商品のみレコメンドしたい場合に設定します。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

フィルタ

アイテムコード指定

ターゲットアイテムを指定する

カテゴリフィルタ

カテゴリフィルタに使用するカテゴリを指定する

カテゴリ階層	カテゴリ値	
1階層	未設定	...
2階層	未設定	...
3階層	未設定	...
4階層	未設定	...
5階層	未設定	...

価格フィルタ

価格フィルタに使用する価格を指定する

「カテゴリフィルタに使用するカテゴリを指定する」にチェックを入れます。

直接入力の場合

カテゴリ編集

カテゴリを設定してください。カテゴリはカテゴリフィルタで使用されます

カテゴリ値

直接入力
 ユーザー定義変数

トップス

必要に応じて出力するカテゴリ分を作成します。

カテゴリフィルタ

カテゴリフィルタに使用するカテゴリを指定する

カテゴリ階層	カテゴリ値	
1階層	トップス	...
2階層	Tシャツ	...
3階層	ドット柄	...
4階層	未設定	...
5階層	未設定	...

ユーザー定義変数の場合

カテゴリ値

直接入力
 ユーザー定義変数

新規作成

「ユーザー定義変数」にチェックを入れ、新規作成をクリックします。

例) JavaScript変数からカテゴリを取得できる場合

ユーザー定義変数編集

ユーザー定義変数を設定してください。ユーザー定義変数は「条件」「アクション」で使用することができます

ユーザー定義変数名

タイプ

JavaScript変数

変数名

プルダウンよりタイプを選択します。

注意事項

※レコメンドロジックによって、カテゴリフィルタが行われない場合もございます。詳細はマニュアル (<https://support.rtoaster.jp/hc/ja/articles/9415729586703>) をご確認ください。

フィルタ設定 (価格フィルタ)

商品の価格を指定して、レコメンドをフィルタリングする場合に設定します。
例えば、カートページで10,000円以下の商品をレコメンド対象にしたい場合は下記のように設定します。

価格フィルタ

価格フィルタに使用する価格を指定する

下限
例) 100 以上のアイテムのみレコメンドする

上限
10,000 以下のアイテムのみレコメンドする

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」



指定の金額のアイテムのみレコメンドすることが可能です。

JavaScript関数

内容に応じて、ページ右上に下記アイコンを記載しております。

任意

設定自体が任意のページ

JavaScript関数の設定方法（アクション設定）

任意

ルール・条件の設定はトラッキング、レコメンドの設定と同様になります。

管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

JavaScript関数アクションの設定

ルール編集

ルールを設定してください。ルールは「条件」と「アクション」によって構成され、条件に合致した場合にアクションが発動します

ルール名 **必須**

商品詳細でのJavaScript

発動条件 **必須**

条件名	条件
トップページでのレコメンド	条件で全てを対象にする

AND

例外条件

条件名	条件
採用情報ページ例外条件	条件でページが「/recruit」に一致する

OR

アクション選択

このルールで発動するアクションを設定してください

アクション名

アクションを作成

アクション編集

アクションを設定してください

アクション名 **必須**

商品詳細ページでのJS関数

タイプ

JavaScript関数

レコメンドを選択します。

優先度 **必須**

例) 100

スクリプト **必須**

```
function () {  
  rt_data["key"] = "value";  
}
```

編集アイコンをクリックします。

設定方法は次のページで説明しています。

JavaScript関数の設定方法（スクリプト）

JavaScript関数では、他アクション設定時に利用する変数やトラッキングでの学習などをサイト側の実装なしに、実行していただくことが可能です。



↑ こちらに任意のJavaScriptをご記入いただけます。

ご利用例

トラッキング

- ユーザーIDの書き換え
- 閲覧情報の学習
- 購買情報の学習
- カスタム変数

レコメンド

- アイテムコード指定
- フィルタカテゴリ指定
- 価格フィルタ指定

スクリプト例

Google Tag Managerのdatalayerを活用した、購買学習

```
function () {  
  var rt_data = (window.rt_data = window.rt_data || {});  
  var purchase = dataLayer[0];  
  if (!purchase) return;  
  var codes = purchase["gtm-product_id"] || [];  
  for (var i = 0; i < codes.length; i++) {  
    rt_data["conversion_item" + (i + 1) + "_code"] = codes[i];  
    rt_data["conversion_item" + (i + 1) + "_price"] = (purchase["gtm-product_price"] ||  
    [])[i];  
    rt_data["conversion_item" + (i + 1) + "_qty"] = (purchase["gtm-product_qty"] || [])[i];  
    rt_data["conversion_item" + "_brand"] = (purchase["gtm-product_brand"] || [])[i];  
  }  
  rt_data["conversion_subtotal"] = purchase["gtm-transaction_price"];  
}
```

ワンタグ設定内容の公開

ワンタグの取得・実装

Rtoasterワンタグ取得・実装方法

▼管理画面からRtoasterワンタグを取得しサイトに実装します。実装する際は、事前にバージョン公開をするようにしてください。

※ワンタグ設定を行っていない状態で公開いただいて問題ございません。バージョン公開せずに実装するとWebページ上でエラーとなります。

①メニューから

「その他」→「ワンタグ設定」を選択し、「バージョン」タブをクリックします。



管理画面：「その他」>「ワンタグ設定」

②本コードをコピーし、サイト内の対象ページの<head>…</head>タグ中に挿入します。

```
<script type="text/javascript">!function(r,t,j,s){(j=r.createElement(t)).type="text/javascript",j.async=!0,j.src="//js.rtoaster.jp/RTA-XXXX-XXXXXX/rt.js",(s=r.getElementsByTagName(t)[0]).parentNode.insertBefore(j,s)}(document,"script")</script>
```

貴社サイトHTML実装イメージ

```
<head>  
<script  
type="text/javascript">!function(r,t,j,s){(j=r.createElement(t))  
type="text/javascript",  
.async=!0,j.src="//js.rtoaster.jp/RTA-XXXX-XXXXXX/rt.js",  
s=r.getElementsByTagName(t)[0]).parentNode.insertBefore  
e(j,s)  
(document,"script")</script>  
</head>
```

xxx.co.jp のRtoasterトラッキングID

Rtoasterを使用する
全ページに挿入



バージョン公開設定方法

ワンタグ設定内容を反映させるためには、バージョン公開が必要です。
サイトへの反映時間は、バージョン公開頂いた**10分後**となります。

※公開後すぐにサイト反映状況をご確認される場合は、キャッシュをクリアしてご確認ください。

▼バージョンタブを確認

▼バージョンタブを確認

```
<script type="text/javascript">function(rt,s){(j=r.createElement()).type="text/javascript",j.async=10,j.charset="utf-8",j.src="//sftp.rtoaster.jp/B/qc2cucmNSgN7a1vb4N1CUPKFc/onetag/RTA-d8b3-99b2c6185875/rt.js",(s=r.getElementsByTagName(t)[0]).parentNode.insertBefore(j,s)}(document,"script")</script>
```

「公開」をクリックします

▼バージョンのステータスについて

ステータスには以下の項目が存在します。

- 公開中
- 公開処理失敗

ステータスが『公開処理失敗』と表示された場合は、Rtoasterサポートへお問い合わせください。

▼過去バージョンの公開について

過去のバージョンを「公開」することで、過去の公開されていた設定状況を反映することができます。
※管理画面の設定内容は変更されません。

バージョン公開

公開するバージョン情報を設定してください。OKをクリックすることでスクリプトがユーザーに公開されます

バージョン名 **必須**

バージョン1 「バージョン名」を入力します。

備考

商品ページのレコメンドコードを更新 備考に更新内容を入力します。

ステータスが「公開」であれば公開完了です。

バージョン名	備考	ステータス	作成日	公開日	最終更新日	
バージョン2		公開中	2020/4/9	2020/4/9	2020/4/9	...
バージョン1	更新		2020/4/9	2020/4/9	2020/4/9	...

ワンタグバージョンアップ情報

環境間の設定移行

Rtoaster action+ ver5.10より検証環境で設定いただいた、ワンタグの設定を本番環境に移行できる機能が追加されました。

設定移行の手順

TOP > その他 > ワンタグ設定 ①

ルール	条件	アクション	ユーザー定義変数	共通	バージョン
トラッキング	発動条件 ページ共通訪問 例外条件 商品詳細訪問 カートページ 購買完了ページ	トラッキング			2020/10/14
レコメンドコード	発動条件 レコメンド_PC 例外条件 レコメンド_SP 自動_TOP_PC 自動_商品詳細_PC 自動_カート_PC 自動_お気に入り_PC	レコメンド_PC			2020/11/17
カート_トラッキング	発動条件 カートページ	カートトラッキング			
購買完了_トラッキング	発動条件 購買完了ページ	購買完了トラッキング...			2020/11/11

1

インポートするルール、条件、アクション、ユーザー定義変数の選択。

他プロパティから設定をインポート

インポート元のプロパティ

2 検証環境 選択

3 差分更新
 置換更新

4

5

設定をインポート

インポート元のプロパティ、インポート方法を選択してください。

インポート	更新内容	ルール名	ステータス	最終更新日
<input checked="" type="checkbox"/>	更新	トラッキング		2020/12/10
<input checked="" type="checkbox"/>	更新	レコメンドコード		2020/12/13
<input checked="" type="checkbox"/>	更新	カート_トラッキング		2020/12/10
<input checked="" type="checkbox"/>	更新	購買完了_トラッキング		2020/12/10
<input checked="" type="checkbox"/>	更新	商品詳細トラッキング		2020/12/10
<input checked="" type="checkbox"/>	更新	レコメンドコード_SP		2020/12/10
<input checked="" type="checkbox"/>	更新	自動_T		2020/12/10

参照 : <https://support.rtoaster.jp/hc/ja/articles/9415699155727#Import>

アクションの優先順位付け

ルールに対して複数のアクションを設定している場合(アクションのタイミングが同時の場合)、設定した優先度の大きい順に実行されます。未設定の場合は優先度0となります。

ルール名 **必須**
カートページ

発動条件 **必須**

条件名	条件
dummy1	条件式 全てを対象にする

AND

例外条件
例外条件を設定

アクション **必須**

アクション名	優先度
価格処理	100
トラッキング	80

ルール	条件	アクション	ユーザー定義変数	共通	バージョン
アクション名		タイプ		優先度	ステータス
トラッキング		トラッキング		80	使用中
レコメンド		レコメンド		20	使用中
閲覧カテゴリ		トラッキング			使用中
閲覧学習		JavaScript関数			
価格処理		JavaScript関数		100	

アクションを作成

例：優先度100・80の場合、実行順は100→80となります。
優先度が同じ場合の実行順番は不定となります。

参照:<https://support.rtoaster.jp/hc/ja/articles/9415699155727#Action01>

ワンタグをご利用になられる際のご注意点

エレメントIDを変更した際

WEBレコメンド設定にて、エレメントIDが変更になった場合、ワンタグ側も設定を直していただく必要があります。

設定移行の手順

ワンタグのアクション設定

アクション編集

アクション名

タイプ
レコメンド

優先度
100

適用レコメンド
 通常レコメンドを表示する

エレメントIDを選択

エレメントID選択 (通常)

レコメンドを表示するエレメントIDを左の一覧から右に追加してください

エレメントID/Webレコメンド場所名	レコメンド方法
<input checked="" type="checkbox"/> embedded_top_campaign トップキャンペーン	ルールベースレコメンド
<input checked="" type="checkbox"/> embedded_top_history あなたが見た商品	閲覧履歴
<input type="checkbox"/> test_test	ルールベースレコメンド
<input type="checkbox"/> test_test2	ルールベースレコメンド
<input type="checkbox"/> test11 リスト	ルールベースレコメンド

追加 >>

チェック項目を除外

エレメントID/Webレコメンド場所名	レコメンド方法
<input type="checkbox"/> embedded_top_campaign トップキャンペーン	ルールベースレコメンド
<input type="checkbox"/> embedded_top_history あなたが見た商品	閲覧履歴

変更されたエレメントIDを選択し直してください。
(変更前のエレメントIDが残っています。)

レコメンドアクションの重複

同一ページで、複数のレコメンドを実施する際は、レコメンドアクションを一つにまとめていただく必要がございます。

設定例：ポップアップを全ページで表示し、通常レコメンドを特定のページで表示する場合

間違った設定方法

ルール①

条件：全ページ
アクション：レコメンド
レコメンド内容：
1. ポップアップ

ルール②

条件：商品詳細ページ
アクション：レコメンド
レコメンド内容：
1. 通常レコメンド



正しい設定方法

ルール①

条件：全ページ
(例外条件：商品詳細ページ)
アクション：レコメンド
レコメンド内容：
1. ポップアップ

ルール②

条件：商品詳細ページ
アクション：レコメンド
レコメンド内容：
1. 通常レコメンド
2. ポップアップ

ルール①、ルール②ともに、「商品詳細ページ」でのレコメンドを含んでいるため、「商品詳細ページ」ではルール①、②どちらかのレコメンドのみ表示されます。

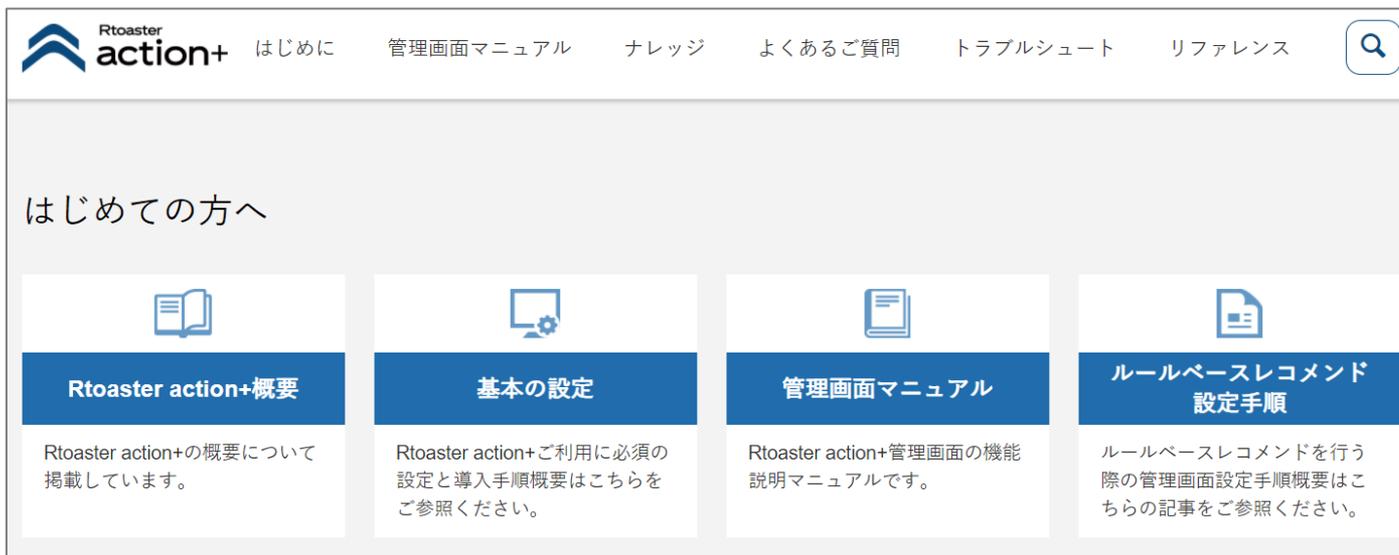
ルール①から、「商品詳細ページ」が除外され、ルール②にポップアップが追加されたため、「商品詳細ページ」では通常レコメンド、ポップアップ両方のレコメンドが表示されます。

Rtoasterサポートセンター
(Webマニュアル等)

【ご案内】Rtoasterサポートセンター・Webマニュアル

Rtoasterサポートセンターでは、レコメンドを行うための設定方法・手順等を掲載しております。

※Rtoaster action+管理画面のマニュアル（設定・効果測定等）やHTMLコードの記述例、Tips動画等のご確認、またページ内でのキーワード検索も可能です。



The screenshot shows the Rtoaster support center website. At the top, there is a navigation bar with the Rtoaster action+ logo and several menu items: はじめに, 管理画面マニュアル, ナレッジ, よくあるご質問, トラブルシュート, and リファレンス. A search icon is located on the right side of the navigation bar. Below the navigation bar, the main content area is titled 'はじめの方へ' (Getting Started). Under this title, there are four main categories, each with an icon and a brief description:

- Rtoaster action+概要**: Rtoaster action+の概要について掲載しています。
- 基本の設定**: Rtoaster action+ご利用に必須の設定と導入手順概要はこちらをご参照ください。
- 管理画面マニュアル**: Rtoaster action+管理画面の機能説明マニュアルです。
- ルールベースレコメンド設定手順**: ルールベースレコメンドを行う際の管理画面設定手順概要はこちらの記事をご参照ください。

Rtoasterサポートセンター : <https://support.rtoaster.jp>

Appendix: データ変数 (rt_data) を活用した実装

データ変数(rt_data)について

データ変数による実装とは、管理画面で詳細設定を行わずに、値を送信する方法です。
[バージョン]タブの『データ変数を用いた値の送信方法を表示』からデータ変数を取得できます。
データ変数のご利用が難しい場合には、ユーザー定義変数のご利用をご検討ください。

《データ変数での利用が可能な機能》

トラッキング

- ユーザーIDの書き換え
- 閲覧情報の学習
- 購買情報の学習
- カスタム変数

レコメンド

- カテゴリ取得コード
- ターゲットアイテムの指定
- 価格フィルタ

データ変数の取得

TOP > その他 > ワンタグ設定 ①

ルール 条件 アクション ユーザー定義変数 共通 **バージョン**

※下記のコードをウェブサイトのすべてのページの、<head>タグのなるべく上のほうにコピーして貼り付けてください

データ変数を用いた値の送信方法を表示

```
<script type="text/javascript">!function(r,t,j,s){(j=r.createElement(t)).type="text/javascript",j.async=10,j.charset="utf-8",j.src="//sftp.rtoaster.jp/BIQc2cucmNSgN7alvb4N1CUPKFc/onetag/RTA-edbc-3266a4aae294/rt.js",(s=r.getElementsByTagName(t)[0]).parentNode.insertBefore(j,s)}(document,"script")</script>
```

公開

データ変数の変更

共通項目編集
共通で適用される項目を設定してください

エンドポイント
 制限あり (Rtoaster標準)
 直接入力

モード
 オプトアウト (Rtoaster標準)
 オプトイン

レコメンドタイムアウト (秒)
2

データ変数
 データ変数を使用する
rt_data

LINE連携用スクリプト
 ワンタグのスクリプトにLINE連携用スクリプトを含める

商品の閲覧学習コード

留意事項

- 閲覧情報学習コードは、**URLからアイテムコードを取得できないサイト**で、商品の閲覧情報を基にした自動レコメンド表示を行う際に必要となります。（URLからアイテムコードを取得できる場合は不要です）
- 閲覧情報学習コードは、商品詳細ページに該当するページに挿入してください。

挿入箇所

- ワンタグよりも前に設置して下さい。※ワンタグよりも前に実行する必要があるため。

```
<script type="text/javascript">
  var rt_data = {
    track_item_code: "商品のアイテムコードを入れてください"
  };
</script>
```

サイト訪問者を特定するユーザーIDの書き換え

留意事項

- 本実装は「ユーザー属性データ利用オプション」、「ユーザー軸外部リストレコメンド」を利用する場合、クロスデバイスでスコアリング結果を共有する場合に必ず必要となります。
- Rtoaster側ではサイト訪問者（ユーザ）を識別するCookieを自動発行します。（ユーザーIDといいます）
- お客様側サイトで発行する値（会員IDなど）をユーザを識別するキー値として使用する場合、ログイン後など、ユーザー識別子が特定できるページに実装して下さい。
尚、全ページに実装でも構いません。全ページに実装する際は、識別子が特定できない場合は空でも構いません。（user_id: ""）
- お客様側サイトで発行するユーザーIDは、**UUID（XXXXXXXX-XXXX-XXXX-XXXX-XXXXXXXXXXXX という36文字）形式ではない、任意の250文字以下**としてください。

挿入箇所

- ワンタグよりも前に設置して下さい。※ワンタグよりも前に実行する必要があるため。
- 書き換えるユーザーIDは、ハッシュ化する等の対応をお願いします（平文は避けて下さい）。
- ユーザーIDは訪問者ごとに一意な値である必要があります。
- 書き換えるユーザーIDとユーザー属性データの「ユーザーID」は一致させて下さい。

```
<script type="text/javascript">
  var rt_data = {
    user_id: "書き換えるユーザーIDを入れてください"
  };
</script>
```

カートIN学習コード

留意事項

- カート投入情報を基に自動レコメンド表示するには「購買情報学習コード」の挿入が必要です。

挿入箇所

- ワンタグよりも前に設置して下さい。※ワンタグよりも前に実行する必要があるため。
- 「アイテムコード」は必須項目です。「小計」「単価」「個数」はオプション項目ですが、レポート作成時にローデータ集計で使用するため、設置を推奨します。
- 「アイテムコード」は商品詳細ページのURLや閲覧学習コードから取得した「商品コード」と同じである必要があります。
- 複数商品が投入されている場合は、そのすべての商品を記述して下さい。

```
//カートIN
<script type="text/javascript">
  var rt_data = {
    custom_subtotal: "小計を入れて下さい",
    custom_item1_code: "商品1のアイテムコードを入れて下さい",
    custom_item1_price: "商品1の単価を入れて下さい",
    custom_item1_qty: "商品1の個数を入れて下さい",

    . . . 中略 . . .

    custom_itemn_code: "商品nのアイテムコードを入れて下さい",
    custom_itemn_price: "商品nの単価を入れて下さい",
    custom_itemn_qty: "商品nの個数を入れて下さい"
  };
</script>
```

接頭辞に「custom_」が必要です

```
//カートが空の場合
<script type="text/javascript">

  var rt_data = {
    custom_subtotal: "0"
  };

</script>
```

商品の購買学習コードの挿入

留意事項

- 購買情報を基に自動レコメンド表示、購買情報をローデータに蓄積するために「購買情報学習コード」が必要です。

挿入箇所

- ワンタグよりも前に設置して下さい。※ワンタグよりも前に実行する必要があるため。
- 「アイテムコード」は必須項目です。「小計」「単価」「個数」はオプション項目ですが、レポート作成時ローデータ集計で使用するため、設置を推奨します。
- 「アイテムコード」は商品詳細ページのURLや閲覧学習コードから取得した「商品コード」と同じである必要があります。
- 複数商品が購入された場合は、そのすべての商品の設定を記述してください。

```
<script type="text/javascript">

  var rt_data = {
    custom_subtotal: "小計を入れて下さい",
    custom_item1_code: "商品1のアイテムコードを入れて下さい",
    custom_item1_price: "商品1の単価を入れて下さい",
    custom_item1_qty: "商品1の個数を入れて下さい",

    . . . 中略 . . .

    custom_itemn_code: "商品nのアイテムコードを入れて下さい",
    custom_itemn_price: "商品nの単価を入れて下さい",
    custom_itemn_qty: "商品nの個数を入れて下さい"
  };
</script>
```

指定したアイテムに基づくレコメンド

留意事項

- 購入した商品に基づくレコメンドや、お気に入り商品に基づくレコメンドなど、指定したアイテムに基づくレコメンドを行う場合のタグです。

挿入箇所

- ワンタグよりも前に設置して下さい。※ワンタグよりも前に実行する必要があるため。

```
<script type="text/javascript">

    var rt_data = {
        recommend_item_code: [
            "商品1のアイテムコードを入れて下さい",
            "商品2のアイテムコードを入れて下さい",
            "商品nのアイテムコードを入れて下さい"
        ]
    };

</script>
```

アイテムのカテゴリによるレコメンドフィルタリング

留意事項

- 「カテゴリコード」は、URLからカテゴリコードを取得できないページで、レコメンド結果をカテゴリでフィルタリングする際に必要となります。（URLからカテゴリコードを取得できる場合は不要です）
- カテゴリコードは、商品詳細ページ、カテゴリページに挿入してください。

挿入箇所

- ワntagよりも前に設置して下さい。※ワntagよりも前に実行する必要があるため。
- カテゴリは最大5つ指定可能です。
- アイテムマスタのカテゴリと同一の値を出力する必要があります。
- 例) カテゴリ3のみ指定する場合はカテゴリ1・カテゴリ2は""（空）で値を出力してください。

```
<script type="text/javascript">
  var rt_data = {
    // カテゴリコード指定
    recommend_category: [
      "カテゴリ1の値を入れて下さい",
      "カテゴリ2の値を入れて下さい",
      "カテゴリ3の値を入れて下さい",
      "カテゴリ4の値を入れて下さい",
      "カテゴリ5の値を入れて下さい"
    ]
  };
</script>
```

自動レコメンドを価格でフィルタリング

留意事項

- レコメンドアイテムを価格でフィルタリングする場合に使用します。
- アイテムマスタの「価格」を利用します。

挿入箇所

- ワンタグよりも前に設置して下さい。※ワンタグよりも前に実行する必要があるため。
- ○○○には金額（数値）を設置して下さい。

```
<script type="text/javascript">
```

```
var rt_data = {  
  recommend_price_min: "○○○",  
  recommend_price_max: " ○○○"  
};
```

```
</script>
```

スコアリング実装

留意事項

- スコアリングを行う際に、変数値をRtoasterに通知します。
※URLから判別できない値を通知させる場合に活用します。

挿入箇所

- ワntagよりも前に設置して下さい。※ワntagよりも前に実行する必要があるため。
- 変数名（custom_xxx）は接頭辞に「custom_」を付与する必要があります。

```
<script type="text/javascript">  
  
  var rt_data = {  
    custom_x1: "x1の値を入れて下さい",  
    custom_x2: "x2の値を入れて下さい"  
  };  
  
</script>
```

株式会社ブレインパッド

〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル

TEL : 03-6721-7002 FAX : 03-6721-7010

www.brainpad.co.jp info@brainpad.co.jp

本資料は、未刊行文書として日本及び各国の著作権法に基づき保護されております。本資料には、株式会社ブレインパッド所有の特定情報が含まれており、これら情報に基づく本資料の内容は、御社以外の第三者に開示されること、また、本資料を評価する以外の目的で、その一部または全文を複製、使用、公開することは、禁止されています。また、株式会社ブレインパッドによる書面での許可なく、それら情報の一部または全文を使用または公開することは、いかなる場合も禁じられております。